

一般社団法人システム制御情報学会
スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会
第 22 回例会のご案内
「ウィズコロナ時代の製造業」

一般社団法人 システム制御情報学会
SmFA 研究分科会
主査 貝原 俊也 (神戸大学)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大や常態化を受け、今や在宅勤務や出張の自粛、オンライン会議などは日常となり、我々の職場環境や仕事の進め方はもちろん、消費者のライフスタイルの変化により提供すべき製品市場の動向まで大きく変わろうとしています。そこで、今回の例会では、国際的なスマート製造の状況や現場における人と機械の関係性・協働作業に関する最新動向をご紹介いただきながら、ウィズコロナの時代における製造業の在り方について、専門家の方々とともに複数の視点からご議論をいただきます。会員の皆様方より多数のご参加をお待ち申し上げます。

- ✧ 企画：一般社団法人システム制御情報学会 スマート・フレキシブル・オートメーション (SmFA) 研究分科会
- ✧ 協賛：公益社団法人精密工学会 生産・経営知識学専門委員会
- ✧ 日時：2020年9月30日(水) 13:30 ~ 16:50
- ✧ 場所：Zoomによるオンライン開催

✧ プログラム：

13:30 ~ 13:35 挨拶

13:35 ~ 14:35 講演 1

「スマート製造の国際動向、求められる人と機械の新たな関係」

株式会社日立製作所 研究開発グループ テクノロジーイノベーション統括本部
生産イノベーションセンタ 生産システム研究所 堤 大輔 先生

人口減少による労働力の多様化、IoT や AI ロボットによる機械の多様化により、「人」も「機械」も多様化する産業界。持続的な経済成長につなげるために、人々が働くことに幸せを見出しながら、機械と共に進化する世界の実現が求められている。本講演では、人も機械も、それぞれが持つ多様な特性を活かし相互に能力を高めあい、多様なまま成長するという考え方、Multiverse Barrier Free(マルチバース・バリアフリー)をご紹介する。また、アフターコロナの世界に向けたモノづくりの課題やあるべき方向に関する欧米有識者との議論についても合わせてご紹介する。

14:35 ~ 15:35 講演 2

「現場データを活かしたモノづくりトランスフォーメーション」

三菱電機(株) 名古屋製作所 FA ソリューションシステム部 森田 温 先生

三菱電機では、2003年にe-F@ctoryを提唱し、ITとFAの融合を推進してきた。近年、製造業においてデータの重要性が増大するとともに、人との協働が求められている。今回は、PFとしてのEdgexross、および協働ロボットASSISTAなどについて説明する。

15:35 ~ 15:50 休憩

15:50 ~ 16:50 講演 3

「ウィズ・コロナ時代だからこそ加速すべきデジタルトランスフォーメーション ~ ITとOTの融合の先にある「DTO(Digital Twin of Organization)」を目指す！」

(株)インプレス 田口 潤 先生

新型コロナ禍は、日本の社会や企業における様々な問題や課題を鮮明に浮かび上がらせました。その1つがITやデジタル技術をまったくといっていいほど活用できていないことです。だからこそ今、デジタルトランスフォーメーション(DX)を加速させなければなりません。そこで、ここでは①コロナ禍で明らかになった実態、②欧米などにおける先進的な取り組み、③日本企業に求められるデジタル化の方向性、についてお話しします。③に関わる重要な概念が「DTO(デジタルツイン・オブ・オーガニゼーション)」です。

☆ 参加資格：スマート・フレキシブル・オートメーション(SmFA)研究分科会会員

精密工学会・生産経営知識学専門委員会

第22回例会にご出席される方は、2020年9月16日(水)までに、メール(smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp)まで、①ご所属、②お名前、③E-mailアドレス、④研究例会の出欠をご連絡いただきますようお願いいたします。

※SmFA研究分科会に入会ご希望の方は、事前に手続きをお願いいたします。

問い合わせ先：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院システム情報学研究科 貝原俊也

(事務局担当：國領、坂本)

Tel: 078-803-6250、 Fax: 078-803-6391

E-mail: smfa-staff@kaede.cs.kobe-u.ac.jp

Web: <http://smfa.iscie.or.jp>